

学 校 紹 介

五ヶ瀬町立上組小学校 大島 昭二

1 はじめに

五ヶ瀬町は、町域西部から熊本県と接しており、南西部には日本最南端のスキー場「五ヶ瀬ハイランドスキー場」が存在する。春は県の天然記念物に指定されている浄専寺の枝垂れ桜が色づき、夏はヤマメが育つ清流とお茶香る緑色に。秋は紅葉色、冬は白銀の世界に包まれる。まさに、四季の移ろいを感じることのできる自然豊かな町である。

本校は、1909年創立、今年、116年目を迎えた歴史と伝統のある学校である。まず紹介したいのは、この眺望である。（右写真参照）阿蘇五岳、九重連山、晴れていれば雲仙普賢岳まで視界に収めることのできる大パノラマ。この大自然に囲まれた上組小で、児童12名は、のびのびと元気いっぱい学校生活を送っている。



2 本校の特色ある取組

(1) G授業（4つの小学校の集合学習）

一単位学校では少人数ゆえ、なかなか効果が高まらない授業内容について、G授業として効率的に行っている。また、五ヶ瀬の「ひと・もの・こと」を効果的に活用した「豊かな体験活動」を実施しており、地域を創造する資質・能力を計画的に育む教育活動を推進している。

(2) 地域との連携・協働を図った教育活動の推進

地域に伝わる「団七踊り」「古戸野神楽」等の伝統芸能学習、町内の5,6年生が宿泊学習として行う「農泊」、地域の自然を生かした「ヤマメ学習」（1,2年生）「ブドウの収穫・販売体験」（3,4年生）「スキー体験教室」（5,6年生）等、上組小(五ヶ瀬)ならではの教育活動が展開されている。

3 おわりに

右の写真は、「上組小・桑野内地区合同運動会」の様子である。12名の児童の周りを、職員、保護者、地域の方が笑顔で囲む、まさに、五ヶ瀬町の不変の教育スタンス「地域があって、子どもがいて、学校がある」を象徴するような写真である。これからも子ども達の健やかな成長のため、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進していきたいと考えている。

